



## ☆会長あいさつ☆

12月・・・2019年もあと数日となりました。

今年1年を振り返りますと、様々な出来事がありました。

9月から11月にかけて開催されました、アジア初、第9回ラグビーワールドカップでは、たくさんの感動を与えてもらいました。流行語大賞にもなりました、「ONE TEAM」。チーム文化、普段からの日々の鍛錬の大切さ、一朝一夕ではできないことだと、改めて感じました。

一方で、大変残念なことに、今年も多くの自然災害に見舞われた年でした。何事においても備えることの大切さ、重要性を改めて考えさせられました。

師走は何かと忙しくなり、体調も崩しやすくなる時期ですが、皆様、良い年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

## ☆校長先生のお話☆

先日、生徒会選挙があり、生徒会三役が決まりました。学校の中心が3年生から1、2年生に移っていきます。3年生が残してくれた伝統をしっかりと引き継ぎ、さらなる飛躍を目指して頑張ってほしいと思います。

3年生はいよいよ進路決定に向けてラストスパートをかける時期がやってきました。行事や部活動で鍛えた体力と精神力で、その壁を乗り越えていってほしいと思います。

学校公開デーには多数の保護者の方にご来校いただきありがとうございました。また、PTAの方々におかれましては、寒い中、受付をしていただきありがとうございました。今後とも、PTA活動にご支援・ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

## ☆主な行事予定☆



12/18(水)～23(月) 個別保護者会

12/25(水) 終業式

1/7(火) 始業式

1/8(水) 3年実力考査

1/17(金) 震災メモリアル

1/20(月)～23(木) 3年個別保護者会

1/31(金) 新入学説明会

## ☆各学年の様子☆

**【1年生】** 11月にマイクロディベートを行いました。2グループの話し手が賛成・反対の立場に分かれて、第三者（審判）を説得しようとする意見を熱弁する姿がとても良かったです。また、進路適性診断システムを使用して進路学習を行っています。保護者会で結果を配布する予定にしています。人権学習にも取り組む予定になっています。今後ともよろしくお願いいたします。

**【2年生】** トライやる・ウィークの事後学習として、「事業所へのお礼状」「個人発表の制作」に取り組んでいます。1月には、トライやる・ウィークの総括として「全体発表会」を行う予定です。また、活動場所探しにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。2020年もどうぞよろしくお願いいたします。

**【3年生】** 12月に入り、寒さもましてくれました。39回生にとっては、進路決定の時期になりました。これからは、しっかりと自分の目標達成のために学校生活を充実させてほしいと思います。今年も地域の皆様や保護者の皆様には、たいへん温かく見守っていただいたおかげで、3年生として充実した2学期を過ごすことができました。来年度もあと少しではありますが、応援よろしくお願いいたします。

## 専門部からの報告

**【愛護部】** 11/15（金）ふれあい懇話会に2名出席、11/30（土）こうべっ子いじめ防止キャンペーンに3名参加しました。  
2学期もあいさつ運動へのご協力ありがとうございました。

**【文化部】** 震災メモリアル ～豚汁作り～ ☆1月17日(金) 10:30～ 東校舎2階 調理実習室

ひとり一役運動で応募いただいている方にはお手紙を配布しております。当日の参加も大歓迎です。たくさんの保護者の方のご参加をお待ちしております。

**【全学年】** 学校公開デーでは、受付のお手伝いにご協力いただきありがとうございました。  
3学期も花一輪運動を行います。終業式の日、募集のお手紙を配布しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ～来年度PTA役員選考について～

PTA役員選挙が来年早々にあります。1/7（火）に投票用紙を配布し、立候補・推薦を募ります。立候補者及び得票数上位の方に集まっていただき、話し合いにより役員を決定していきます。

専門部委員長（学年委員長・愛護部委員長・文化部委員長）は学年委員決定後、話し合いにより互選します。皆様のご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

《第1回選考委員会》 開票 2020年1月11日(土)13:00～

《第2回選考委員会》 選出 2020年1月18日(土)10:00～

次回運営委員会 1月9日（木）17:00～

## 校長の独り言 「母の機嫌」

小学校時代、テストの点があまりよくなかったときに母に怒られないようにするための作戦が三つありました。一つ目は母が機嫌のよさそうな日を見つけてテストを見せることです。母のその日の気分次第で、10～20点怒られる基準が変わっているように感じたことが何度もあったからです。二つ目の作戦はできる限り一度にまとめて渡すことです。そうすれば、テストの点のことでとやかく言われるのが一度で済むからです。テストが返される度にその都度見せていると、何度も何度も同じような説教をされる可能性が高くなるのを経験で分かっていたからです。小言を1回で済ませる重要な作戦のひとつだった訳です。三つ目の作戦は、一番悪い点のテストから目に入るように答案を重ね、最後に一番よい点だったテストを見てもらい気分よくその時間が終われるよう工夫をしました。そうすれば、不機嫌になりかけていた母の表情が徐々に柔らかな顔に変わり、小言を言われる被害を最小限に食い止めることができるだけでなく、時には褒めてもらって終わることもできたからです。

しかしながら、その作戦がいつもうまくいった訳ではありません。作戦が見事に失敗した日のことを今でも覚えています。いつものように点数の悪い方から順番に目に入るように重ねた数枚の答案を母に渡したところ、そのタイミングで電話が鳴ったのです。母はそのテストの答案数枚をまとめて裏返してテーブルに置き、電話を終えた後に、裏返しになっている数枚のテストを上から順番に見始めたのです。つまり、テストの点の良い方から悪い方へ見ることになってしまったのです。答案用紙を一枚一枚めくっていく度に母の表情が次第に険しくなり「今すぐ、部屋に戻って勉強しなさい！」と一喝される事態に。下手な小細工をしたことを悔いた日の出来事でした。



「がんばれ神話」の功罪

スクールカウンセラー

カウンセラーは対人支援職と言われ、相談に来られた方とお話をする中で、問題解決のお手伝いをします。ただ、医師が手術をしたり、投薬したりするようなことはできず、基本的には「対話」が唯一の手段です。これまでに、あの時にあの人から言われた一言で、心が元気になったことや、逆に心が打ちのめされたことはなかったでしょうか？このように「ことば」は傷ついた心を癒やす薬になれば、傷ついた心をさらに傷つける刃物になったりもします。この点からも心理職だけでなく、教育職、医療職、福祉職に従事する者にとっては、常に「ことば」の使い方には配慮が求められています。今回は、こうした「ことば」の中で学校や家庭で何気なく使われている「がんばれ」について考えてみたいと思います。

お子さんへの声かけで一番多いのが「がんばれ」ではないかと思います。いろいろな学校を訪問していると、「何事にもがんばる」などといった「がんばれ」目標が掲示されている教室をよく見かけます。「がんばる」こと自体は悪いことではありませんし、努力し、目標を達成することは素晴らしいことだと思います。ただ、私たち大人はこの「がんばれ」ということばに頼りすぎていないでしょうか？勉強でも運動でも何かにつけて「がんばれ」を連呼されるお子さんたちの立場になって考えることも必要かと思えます。たとえば、先月書いた「よい子」にとっては、すでに周囲の大人の期待にそってがんばっているのですから、その上「がんばれ」と言われればストレス以外の何物でもないはずですが。このことは、阪神淡路大震災で被災した私たちが悪気なく言われた「がんばってください」に心がちょっと辛かったことを思い起こせば理解できると思います。嫌な言い方をすれば「がんばれ」はすべての責任を相手に委ね、努力を強いることであり、そういう声かけをすることで自分は相手を励ましたという免罪符にもなっているとも言えます。たとえば、連立方程式を解けないお子さんにとって「がんばれ」は何の解決にもなっていないのです。それどころか、お子さんによっては無理に期待に応えようとしてストレスを高めたりがんばってもできないことで自己肯定感を下げたりすることにもなるといえます。私たちは「がんばれ」ということばで、お子さんに何を伝えようとしているかを今一度考えてみるのが大切だと思います。できましたら1日で結構ですので、「がんばれ」ということばを使わずにお子さんと接していただくことをお勧めします。そうすることで、お子さんに伝えたいことを具体的なことばで語る事ができ、お子さんの心に響くことと思えます。



今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。

本日以降、12月19日、1月16日、23日、30日に相談をお受けします。お電話の事前予約は教頭(078-791-8444)に、当日予約はSC(090-8379-3709)に、[メールは事前、当日予約とも nishiochiai\\_sc@yahoo.co.jp](mailto:nishiochiai_sc@yahoo.co.jp)(QRコード→)をお願いします。

